

農業経営の次世代継承

農業経営の次世代継承問題を理論的に解明し、地域の取り組みに対する知見を提供する

やなぎむら しゅんすけ

教授 **柳村 俊介** (農業経営学研究室)

E-mail shunsuke.yanagimura@setsunan.ac.jp

キーワード 農業経営継承の取引費用 親子間継承 第三者継承
 新規農業参入 地域農業の継承システム

食農ビジネス学科

研究概要

背景

- わが国の農業は構造変動期に入り、次世代の農業の担い手確保が最重要課題になっています。
- 今日では、後進的農業構造のもとでの農業後継者の不在問題と先進的農業構造の下で生じる経営継承問題が混在する複雑な様相を呈しています。
- それぞれを視野に入れた個別経営レベル、地域農業レベルの取り組みが求められます。

目的

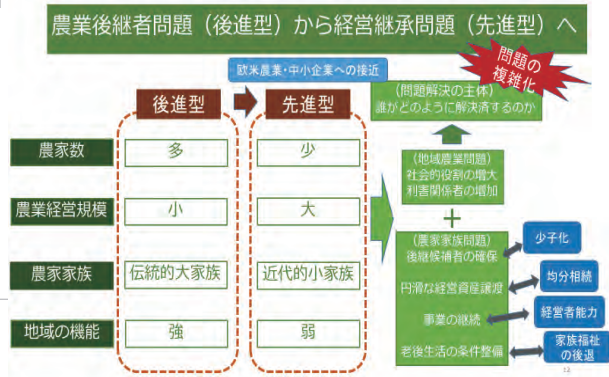
- 地域農業や個別経営の調査活動および海外の農業や中小企業分野との比較を通じて、農業経営の次世代継承問題を理論的に解明します。
- その成果を各地の農業の担い手確保対策に結び付けます。取引費用の節減がポイントです。

主な成果

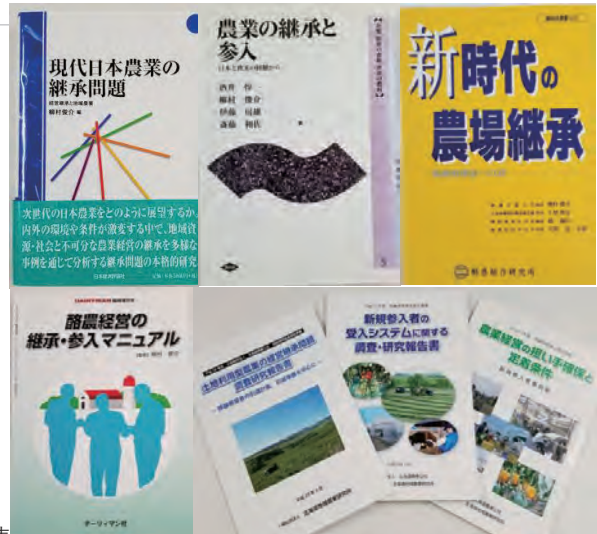
- 北海道農業担い手育成センター（北海道農業公社）からの委託を受け、道内をはじめ、九州、北陸を含む各地の取り組みに関する調査研究を長年にわたり積み重ねてきました。
- 全国農業会議所が2008～17年の期間に実施した農業経営継承事業に研究者の立場で関わりました。
- 家族経営に加え、法人経営の継承問題に関する研究を手掛けています。
- 外部研究資金を得て、海外（北米と韓国）における農業経営継承の調査研究を進めてきました。

連携への展望

農業経営の継承問題の本質は取引費用の高さにあり、その節減には地域の取り組みが不可欠です。地域の実情に応じた取り組みに向けて、農業経営者のみならず自治体や農業団体の関係者と連携したいと思います。



農業経営の次世代継承問題の性格変化



研究成果を収録した図書、刊行物



アピールポイント

詳細なヒヤリングと資料分析を通じて数十年の時間軸で農業や農村社会の動きをとらえ、特徴や問題を整理する調査研究を得意としています。